

グループ会社の取り組み

■日本ホテル株式会社

食品廃棄物のリサイクル推進と地域活性化の両立

日本ホテル(株)では、地球環境保護を企業として取り組む最重要課題の一つと捉え、地球環境保護に向けた基本理念、基本方針および行動指針を定め、①エネルギー・CO₂の削減(電気・ガス使用量の削減等)②資源循環(食品廃棄物の肥料・飼料化)③社員の環境意識の向上を具体的な目標として掲げ、取り組みを行っています。また環境マネジメント室の設置や環境保全活動を推進するプロジェクト分科会を設置するなど、環境経営体制の強化も図っています。

ホテル運営という事業特性上、各ホテルの飲食店等からは多くの食品廃棄物が発生しますが、この食品廃棄物を削減するため、予めカットされた野菜を導入する等の工夫を行っているほか、発生した食品廃棄物については福島県会津若松市との間で「食べ残しの肥料化、地域産業活性化包括協定」を締結することでリサイクルを推進し、また同肥料により栽培された野菜を使用するなど、リサイクルのみならず地域活性化にも寄与する取り組みを行っています。

今後も日本ホテル(株)では、地球環境問題について幅広い視点から検討し、さまざまな環境保全活動を進めていきます。

担当者の声



日本ホテル株式会社
環境マネジメント室
課長

荒井 新一

当社は基本方針に3R運動「Reduce(削減)、Reuse(再利用)、Recycle(再生使用)」の取り組みを提起して環境保護意識の向上と実践に努めています。その中でもホテル内での飲食に使用される食材等の廃棄物を地方と連携して肥料等に再生させるシステムを構築しています。

今後も環境保護の観点から、こうしたノウハウを活かして社員一丸となった、環境改善に取り組める企業文化を創造していければと思います。



ホテルメトロポリタン丸の内におけるリサイクルの状況

■株式会社東日本環境アクセス

JR東日本東京資源循環センターの運営

(株)東日本環境アクセスは、駅舎・ビルの清掃業務を中心に駅業務の一部、廃棄物の収集運搬・リサイクル事業に取り組み、「品質」と「環境」をキーワードに掲げ、環境に配慮し顧客満足度を最優先とする企業経営の実践に努めてきました。特に企業理念において「地球環境保護」と「地域社会との共生」を謳い、「あきらめず、休まず継続的に環境改善を図る」ことを自社の役割としてこれまで環境保全活動を進めており、今後も循環型社会の構築と真の地球環境企業をめざしさらなる努力を続けてまいります。

2010年10月に新設された「JR東日本東京資源循環センター」は、(株)東日本環境アクセスが事業運営を行う施設で、各棟に異なるゴミを処理する3つの施設で構成されており、列車や駅から排出される缶、びん、ペットボトルや古紙等の分別からリサイクルまでを一貫して行うほか、所在地である品川区の家庭から排出される廃プラスチックも取り扱っています。ここで中間処理が行われた廃棄物は資源化され、ペットボトルがJR東日本の制服にリサイクルされるなど、さまざまな製品として再利用されています。

また、同施設は、ビオトープの設置や屋上緑化、壁面緑化等施設の環境負荷低減にも積極的に取り組んでいます。

担当者の声



株式会社東日本環境アクセス
東京資源循環センター事業所
所長
西木 保人

JR東日本東京資源循環センターでは、列車、駅および品川区の家庭から排出される廃棄物年間約1万トンの分別を行います。一般廃棄物・産業廃棄物として排出する量をいかに減らすかが課題であり、できる限りの分別化を推進し廃棄物の再資源化に取り組んでいます。今後も「限りある資源品を有効活用しよう」の精神で、地球環境の負荷を軽減する取り組みを行っていきます。



A棟 混在ゴミライン手選別作業



A棟 缶・びんライン手選別作業



B棟 新聞・雑誌ライン手選別状況



C棟 家庭廃プラスチック搬入状況



屋上緑化



ビオトープ



壁面緑化